

# 放射線部

## 【概要】

放射線部は『安全で安心な検査と治療への取り組み』を目標に掲げています。診療放射線技師、放射線診断科・放射線治療科の医師、看護師などが互いに協力しながら一般撮影、CT、MRI、RI、血管撮影、消化管検査、透視下内視鏡検査、放射線治療などの幅広い領域で検査・治療を行っています。また、放射線に携わる医療人としての課題を認識しながら、常に安全で安心な患者さま中心の診療に努めています。

当院では FPD（フラットパネル）装置を一般撮影室全室（4 室）に導入し、積極的に被ばく線量の軽減を実践しています。昨年度から 256 列 CT を導入することにより冠動脈 CT は撮影時間の短縮、造影剤量や被ばくの低減をすることができ画像も大きく向上しました。MR 検査は 1.5TMR 装置 2 台で診療を行っていましたが、そのうち 1 台が 3TMR 装置に更新され、令和 6 年 1 月より稼動しています。今回更新された 3TMR 装置は技術の進歩により、検査時間、音量などが改善されています。

医療画像診断において、電子カルテシステム、RIS（放射線部門情報システム）、PACS（放射線医用画像システム）の 3 つをネットワークで結ぶことにより、検査の効率化を実践し、検査の実施、放射線科医師が即日所見作成に対応しています。（来年度更新予定）

令和 5 年度の放射線部の人員は、総勢 22 名（診療放射線技師 17 名・事務関係職員 5 名）で運営しました。各技師は、講習や学会に参加して最先端の医療技術に対応できるよう医療人としてのスキルアップを図っています。今年度までに診療放射線技師法改正に伴う告知研修も 14 名修了し、来年度には全員が研修を修了する予定です。タスクシフト・シェアの実現のため医師、看護師と協力して可能な部分から徐々に取り組みを進めて行きたいと思えます。

## 【主な放射線機器装置】 ☆は令和 5 年度新規購入有

一般撮影装置	4	泌尿器・婦人科専用 X 線 TV 装置(DR)	1
FPD 一体型撮影装置	1	ポータブル撮影装置	5
乳房撮影装置	1	ワークステーション VINCENT	1
パノラマ撮影装置	1	1.5TMR 装置	1
骨密度測定装置	1	☆3TMR 装置	1
256MSCT 装置	1	多目的血管撮影装置	1
64 MSCT 装置	1	バイプレーン血管撮影装置	1
FPD・カセット型パネル	10	IVR ヘリカル CT 装置 (16 列)	1
外科用イメージ	3	ワークステーション ZIO	2
X 線 TV 装置 (FPD)	2	ライナック装置	1
デジタルガンマカメラ装置	1	被曝線量管理システム	1

【関連学会等の認定資格取得など】

認定などの名称	人数	認定などの名称	人数
第一種放射線取扱主任者	1	救急撮影認定技師	1
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	4	放射線機器管理士*	2
消化器内視鏡技師	1	医療画像情報精度管理士*	1
医療情報技師	1	Ai 認定診療放射線技師	1
X線 CT 認定技師	3	胃がん X線検診技術部門 B 資格	2
シニア診療放射線技師認定*	1	アドバンスト診療放射線技師認定*	1
ICLS (日本救急医学会認定)	4	第一種作業環境測定士	1

\*は(公益社団法人)日本診療放射線技師会認定資格

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師は女性人数を記載

【代表的な参加学会・研究会等】 \*は役員有

日本放射線技術学会	山口 CT UPDATE セミナー
日本診療放射線技師会	21 世紀山口核医学セミナー
山口県診療放射線技師会	* 山口乳腺画像研究会
* 山口 MR 撮影技術研究会	* 山口 IVR 懇話会
山口放射線治療研究会	山口 MRI UPDATE
山口核医学技術検討会	九州放射線治療システム研究会
CT テクノロジーセミナー	

【検査数】(富士通統計ナビゲータにより抽出照射録件数)

項目		件数	合計
一般撮影系	一般撮影	33,187	41,990
	病棟撮影	6,389	
	手術室撮影	1,669	
	乳房撮影	745	
CT 検査	単純	10,821	14,213
	造影	3,392	
MR 検査	単純	5,329	5,901
	造影	572	
透視下内視鏡検査・治療			260
DR 検査・治療			1,409
核医学検査			231
血管造影室利用検査・治療	血管造影 CT 透視等	(延数)	749
放射線治療			146

**【業績集】**

開催年月日	演 題 名	演 者	学 会 名	場 所
2023.11.18	下肢 CTA 検査における被験者因子が造影剤到達時間に与える影響	花田広憲	第 19 回中四国放射線医療技術学会	山口 KDDI 維新ホール
2023.12.16	DLTI 法を用いた下肢 CTA 検査における被験者因子と造影剤到達時間の関係	花田広憲	第19回山口テクノロジーセミナー	Web 開催